

2024年2月期

第2四半期 決算説明会資料

2023年10月18日

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.



目次

財務報告 2

 2024年2月期 第2四半期決算概況 3

 2024年2月期 通期業績の見通し 14

経営ビジョン 16

トピックス 19

株主様への対応 26

ESGへの取組み 29

SMILE
IS
POWER.

財務報告

2024年2月期 第2四半期決算概況
2024年2月期 通期業績見通し



上期を振り返って

コロナ禍による行動制限が全面解除される中、衣料・雑貨事業関連での個人消費の回復が力強く、上期の売上高、利益項目に於いて、過去最高を更新することとなり、期初の業績予想を、上方修正させて頂きました。

売上高：コロナの収束局面で、タウン(ドレスアップ)系のブランドが、大きく伸長したことに加え、昨年から、回復途上にありましたカジュアル系のブランドでも、減速することなく売上を牽引したことで、衣料事業の大躍進となりました。

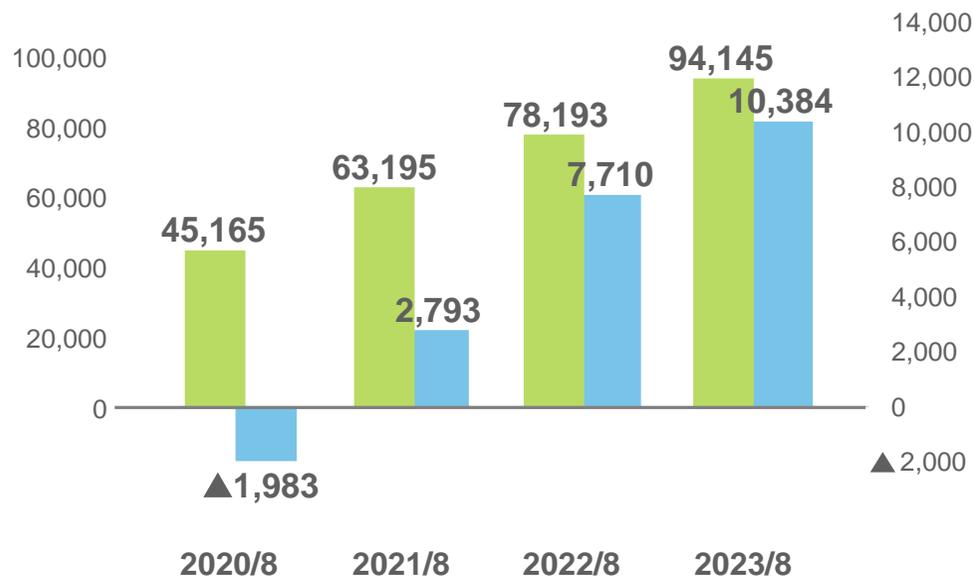
また、3 Coins 事業が、大型タイプの‘3 Coins+(プラス)’の拡大により、既存店・新店効果を発揮し、今期も純増100億円を大きく上回るペースで成長しています。

利益面：衣料事業では、店舗とEC双方でのプロパー消化が進み、利益率を想定以上に押し上げた結果、過去最高益の達成に、大いに貢献しました。

連結

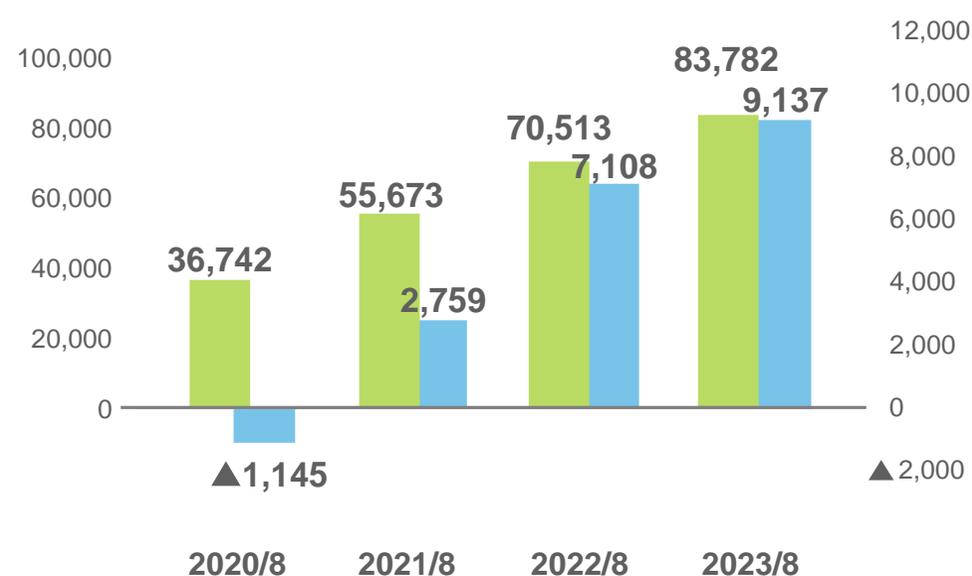
■ 売上高 ■ 経常利益

単位：百万円



(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル ■ 売上高 ■ 経常利益

単位：百万円



単位:百万円

	2022年2月期 第2四半期	2023年2月期 第2四半期	2024年2月期 第2四半期			
			公表値	実績	前年同期比	公表値比
売上高	63,195	78,193	87,090	94,145	120.4%	108.1%
売上総利益	34,809	43,669	47,780	52,327	119.8%	109.5%
(売上比)	55.1%	55.8%	54.9%	55.6%	△0.2%	0.7%
営業利益	2,838	7,582	7,950	10,299	135.8%	129.5%
(売上比)	4.5%	9.7%	9.1%	10.9%	1.2%	1.8%
経常利益	2,793	7,710	7,960	10,384	134.7%	130.4%
(売上比)	4.4%	9.9%	9.1%	11.0%	1.1%	1.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,444	4,808	4,930	7,001	145.6%	142.0%
(売上比)	2.3%	6.1%	5.7%	7.4%	1.3%	1.7%

- (株)パル、(株)ナイスクラブ、及び(株)ノーリーズにおきましては、衣料事業が、店舗、ECのいずれのチャネルにおいても、大きく伸長したことで、売上高、利益の両面で、過去最高を更新する牽引役となりました。
- 短サイクルの4週間MDを徹底することで、需要予測の精度を上げ、無駄な在庫を作らない、持たない経営方針が全社で浸透してきた結果であり、パル流のサステナブルな事業モデルが効果を発揮していると考えます。

単位:百万円

	2022年2月期 第2四半期	2023年2月期 第2四半期	2024年2月期 第2四半期	
			実績	前年同期比
売上高	55,673	70,513	83,782	118.8%
売上総利益	30,914	40,408	46,533	115.2%
(売上比)	55.5%	57.3%	55.5%	△1.8%
営業利益	2,701	7,051	9,166	130.0%
(売上比)	4.9%	10.0%	10.9%	0.9%
経常利益	2,759	7,108	9,137	128.5%
(売上比)	5.0%	10.1%	10.9%	0.8%
当期純利益	1,642	4,589	6,623	144.3%
(売上比)	2.9%	6.5%	7.9%	1.4%

- 衣料事業では、ピアズリーやウィムガゼットなどのドレスアップ系のブランドが、コロナ前の数字を上回るなど、大きく回復を遂げており、カジュアル系でもミスティックやWHO' SWHO GALLERYなどが、ECと店舗の双方で、プロパー消化を強力に推進するなど、売上高、及び利益面で、昨年来の好調を維持しています。
- 3コインズ事業は、大型店舗「3コインズ+プラス」の新規出店がラッシュし、新店効果を発出したこと、また、昨年下半年から、この大型店舗の売上が、既存店売上を底上げする効果も継続しており、今期は、純増120億円超を想定しています。

単位:百万円

	2022年2月期 第2四半期	2023年2月期 第2四半期	2024年2月期 第2四半期	前年比
売上高	6,196	7,603	8,526	112%
営業利益	△60	260	862	331%
経常利益	△46	271	864	318%
当期純利益	△40	168	552	328%

- 基幹ブランド「one after another NICECLAUP」がやや苦戦しましたが、「natural couture」や、統合した「OUTLET」事業が活躍して、第2四半期としては、過去最高売上、最高益を出すことができました。取り組んできた、EC強化、SNS強化、店舗の大型化などが実を結んだ結果です。
- EC売上は、32億となり、ECシェア36.7%、前年比は115%、2桁UPLしております。プロパーブランドの売上のみにと絞るとECシェアは、50%を超えており、EC強化も順調です。
- SNSは、STAFFの個人アカウントのフォロワー総数が、124万フォロワーとなり、前年度から40万フォロワー伸びております。リアル店舗への来店促進、ECサイトへの導線になっております。
- 店舗大型化は、「one after another NICECLAUP」で大阪HEPFIVE店、横浜相鉄ジョイナス店の2店舗。「OUTLET」で、NICECLAUPとOLIVEを、統合した大型店が、酒々井プレミアムアウトレット、三井アウトレット門真にできました。今期、4店舗大型化しております。現在の流れである店舗大型化は、順調に進んでおります。
- このまま基本方針は変更せずに、好調を維持し、予算達成に向け邁進していきます。

セグメント別販売実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP HOLDINGS

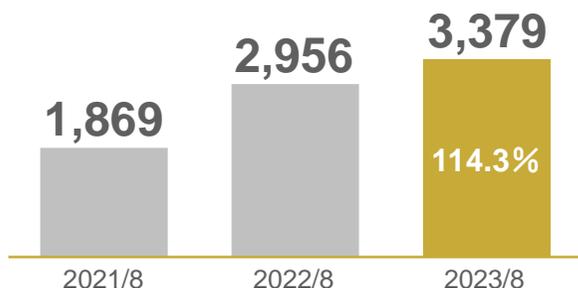
単位:百万円

		2022年2月期 第2四半期	2023年2月期 第2四半期	2024年2月期 第2四半期	前年同期比
衣料					
売上高		39,824	49,869	57,673	115.6%
構成比		63.0%	63.8%	61.3%	△2.5%
営業利益		246	5,311	8,504	160.1%
営業利益率		0.6%	10.6%	14.7%	4.1%
雑貨					
売上高		23,325	28,261	36,375	128.7%
構成比		36.9%	36.1%	38.6%	2.5%
営業利益		2,597	2,258	1,784	△21.0%
営業利益率		11.1%	8.0%	4.9%	△3.1%
その他					
売上高		45	62	96	154.8%
		2022年2月期 第2四半期	2023年2月期 第2四半期	2024年2月期 第2四半期	前年度比
EC売上高					
ZOZO TOWN		7,874	9,916	11,390	114.9%
自社PALCLOSET		5,429	7,064	9,211	130.4%
その他		1,834	1,629	2,104	129.2%
合計		15,137	18,609	22,705	122.0%
対衣料売上高比率		38.0%	37.3%	39.4%	2.1P

- 衣料事業の利益率が飛躍的に伸長した一方で、雑貨事業は、コストアップや為替要因等から厳しい状況が継続中です。
- EC売上高は、自社サイトを軸に、引き続き好調を維持、またアプリ会員数も8月末で864万人まで到達しました。

売上高

単位:百万円



Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、
世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。
今の気分をmixしたマイスタイルの発見。

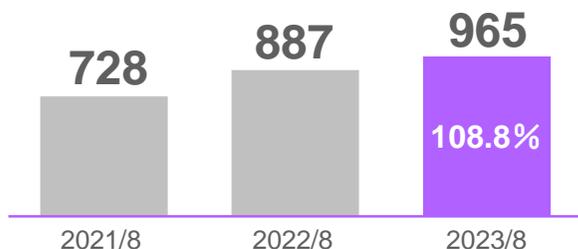
カスタネ

店舗数 27店舗



売上高

単位:百万円



Lui's

モテる男のワードローブをテーマに
モード&ストリートのMIXコーディネート提案。
着心地、カッティング、素材感を重視した商品を
国内外問わず編集し発信していく。

ルイス

店舗数 12店舗



売上高

単位:百万円



3COINS

ベーシックな生活雑貨から、
空間を彩るインテリア雑貨など幅広いラインナップと、
つい手に取りたくなるデザイン性のある商品たち…
いつ行っても新しい発見がある「3COINS」は、
あなたの“ちょっと幸せ”をお手伝いする雑貨店です。
生活雑貨・インテリア雑貨・服飾雑貨・モバイルアイテム・
キッズアイテムなど、様々なアイテムを300円を中心に、
幅広く取り揃えています。

3コインズ

店舗数 296店舗



販売費及び一般管理費

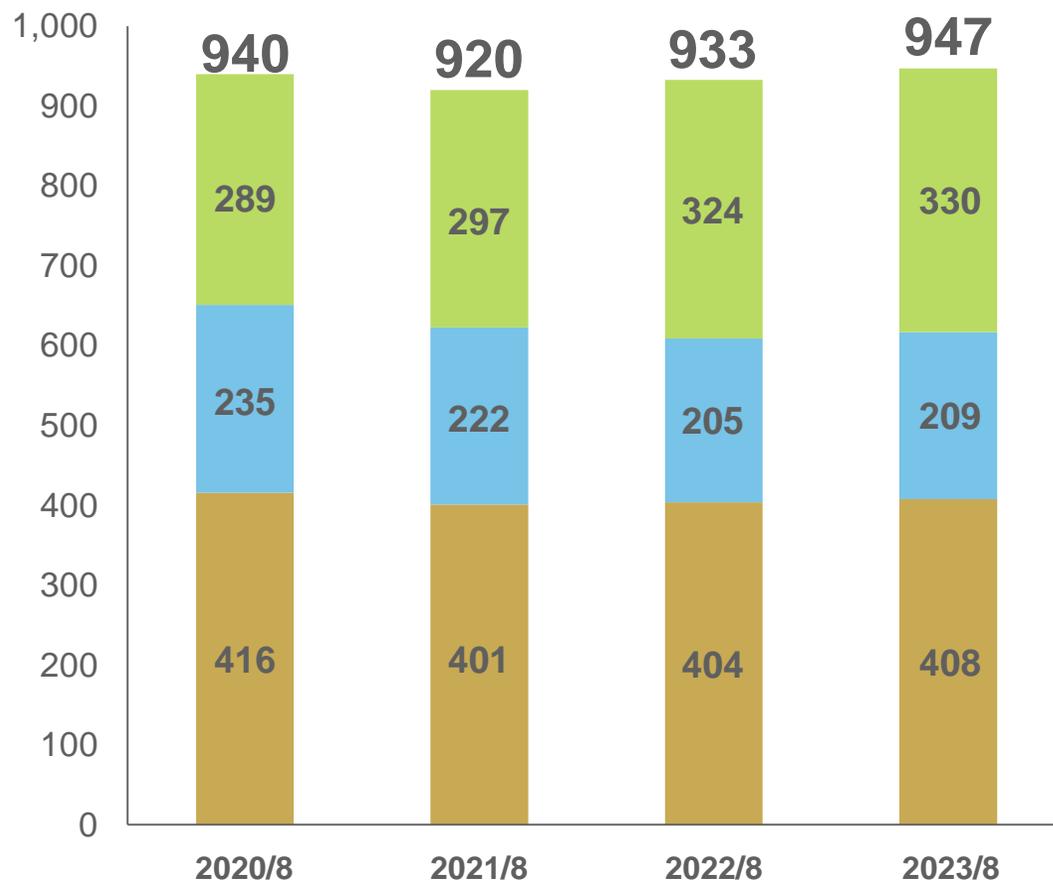
単位:百万円

	2022年2月期 第2四半期	2023年2月期 第2四半期	2024年2月期 第2四半期	前年同期比
(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル	28,213	33,356	37,367	112.0%
連結	31,970	36,087	42,027	116.5%
販管费率(連結ベース)	50.6%	46.2%	44.6%	△1.6P
人件费率	17.7%	17.1%	16.3%	△0.8P
賃料费率	13.3%	12.2%	11.6%	△0.6P
広告宣伝费率	2.5%	1.0%	1.0%	—

- 売上高の伸張や、主要な項目での経費の削減が出来たことより、販管费率は大きく低下しました。人件費では、派遣や時間外的大幅削減に取り組み、賃料も、絶好調の3コインズが牽引する形で引き下げの効果が出てきている。

第2四半期末店舗数947店舗 (前期末比20店舗増加)

- その他地方
- 関西圏
- 関東圏



● 出退店状況

衣料事業での新規出店は13店、退店は19店の純減6店舗。雑貨事業では、新規出店35店、退店は9店の純増26店舗となりました。

● 各ブランドの出店状況

雑貨事業に於いて、3 Coinsで23店、ラティスで5店の新規出店、Salut!で7店の退店を実施、衣料事業では、大きな出入りは有りませんでした。

単位:百万円

	2022年2月期 第2四半期	2023年2月期 第2四半期	2024年2月期 第2四半期
固定資産除却損	83	13	90
減損損失	381	446	143
特別損失合計	465	459	233

- コロナ禍での店舗の整理に一定のメドが付いたことや、今期、店舗へのお客様の回帰により、業績が大きく回復したことから、特損は大きく減少しました。

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期 第2四半期	前期末比増減	備考
流動資産	69,859	85,496	89,099	3,603	
現金及び預金	52,250	63,845	61,903	△1,942	
売掛金	6,342	8,554	10,328	1,774	
たな卸資産	10,766	12,542	14,489	1,947	
その他	530	554	2,378	1,824	
固定資産	23,868	27,014	28,648	1,634	
有形固定資産	6,608	9,120	10,430	1,310	
無形固定資産	467	333	337	4	
投資その他の資産	16,792	17,561	17,879	318	
資産合計	93,728	112,510	117,748	5,238	
流動負債	36,334	43,237	42,706	△531	
固定負債	10,004	14,082	17,637	3,555	
負債合計	46,339	57,319	60,344	3,025	
純資産合計	47,389	55,191	57,404	2,213	
負債純資産合計	93,728	112,510	117,748	5,238	

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2022年2月期 第2四半期	2023年2月期 第2四半期	2024年2月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,115	7,229	5,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	△413	△1,433	△2,336
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,824	△2,047	△5,130
現金及び現金同等物の増加(減少)額	△18,352	3,748	△1,941
現金及び現金同等物の期首残高	63,088	52,250	63,845
現金及び現金同等物の期末残高	44,735	55,998	61,903

- 長短借入れの調整により、財務キャッシュ・フローの安定化を図ると共に、自己株式の取得により、株式価値向上に向けた支出を実施しました。

2024年2月期 連結通期業績の見通し

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2022年2月期	2023年2月期	2024年上期	2024年下期	2024年2月期	前期比
売上高	134,200	164,482	94,145	90,130	184,270	112.0%
売上総利益	74,314	90,221	52,327	49,340	101,667	112.7%
販売管理費	66,794	74,399	42,027	40,670	82,697	111.2%
営業利益	7,520	15,822	10,299	8,670	18,970	119.9%
経常利益	7,660	16,061	10,384	8,760	19,140	119.2%
特別損益	△1,590	△831	△233	△400	△634	76.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,001	9,955	7,001	5,450	12,450	125.1%
粗利率	55.4%	54.9%	55.6%	54.7%	55.2%	0.3P

- 当期の業績につきましては、新型コロナウイルス拡大当初より進めてまいりました、ECの販売強化のための各種プロモーションが功を奏して好調に推移したことに加え、実店舗につきましても自粛規制の緩和により人の流れが増え、商業施設の集客も好転してきたことから、来店客数、売上ともに増加し、期初に想定しておりました経常利益予想を約30%、親会社株主に帰属する当期純利益を42%上回る増益となりました。

第3四半期以降に関しましては、光熱費や原材料価格の高騰、円安による更なる物価上昇の影響は未だ続いており、また人手不足からくる賃金コストの上昇も加わり、店舗を運営する小売業にとっては、厳しい経営環境が続いていることより、第2四半期累計期間の売上・利益の状況を取り込み、下期の業績予想は変更せずに、2024年2月期の通期業績予想を、上方修正することに致しました。

2024年2月期 通期業績見通しの前提

PAL GROUP HOLDINGS

()内、現時点の確定数

1. 店舗数の状況	2022年2月期	2023年2月期	2023年8月末	2024年2月期 期末予想
新規店舗数	47	92	48	79
退店店舗数	77	67	28	54
店舗数純増	△30	25	20	25
会計年度末の店舗数	902	927	947	972

2. 既存店売上の状況 (パルグループ各社の合計)	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期 上期累計実績	2024年2月期 下期累計見通し	2024年2月期 通期見通し
既存店売上推移	136.0	120.0	113.1	102.0	107.5
うち小売既存店売上高	164.3	116.5	109.1	100.8	105.0
うちネット通販既存店売上高	132.5	128.8	124.1	114.3	119.2

	2022年3月	2023年3月	4月	5月	6月	7月	8月
既存店売上推移	111.1	110.9	117.6	108.7	110.3	119.1	112.3
うち小売既存店売上高	104.0	108.5	109.1	105.2	107.5	117.4	109.8
うちネット通販既存店売上高	139.9	114.2	134.9	136.7	118.0	123.1	119.4

3. 全店売上の状況	2022年 3月	2023年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期計
全店売上	113.7	118.4	125.7	118.0	113.2	128.3	120.2	120.6
うちEC	142.6	111.6	132.6	133.6	116.6	121.4	117.7	122.0

4. 客数、客単価の推移	客単価前年度比(第二四半期累計)		客数前年度比(第二四半期累計)	
衣料事業	110.2%		102.5%	
雑貨事業	101.7%		105.0%	
全体	107.8%		104.8%	

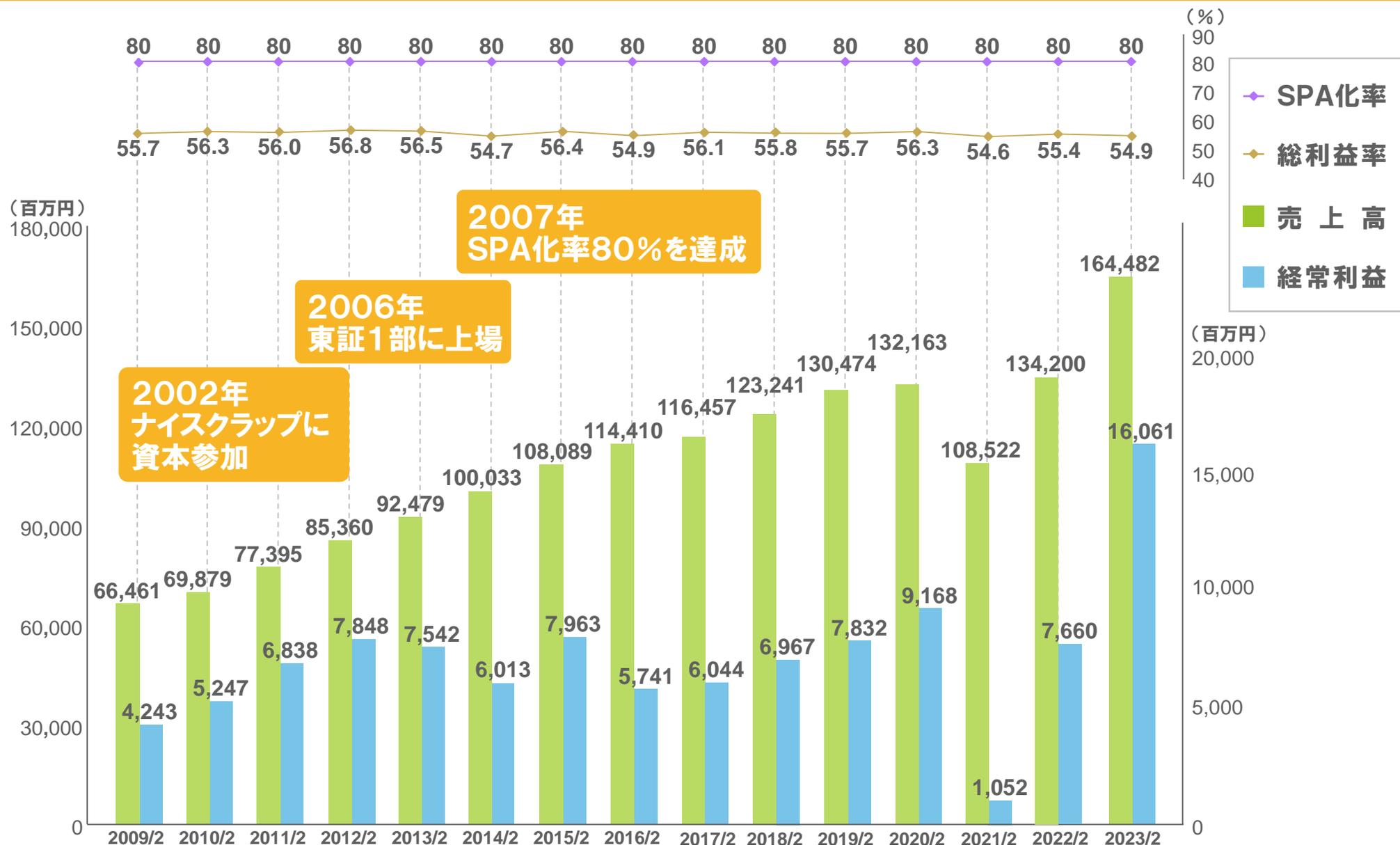
SMILE
IS
POWER.

経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン

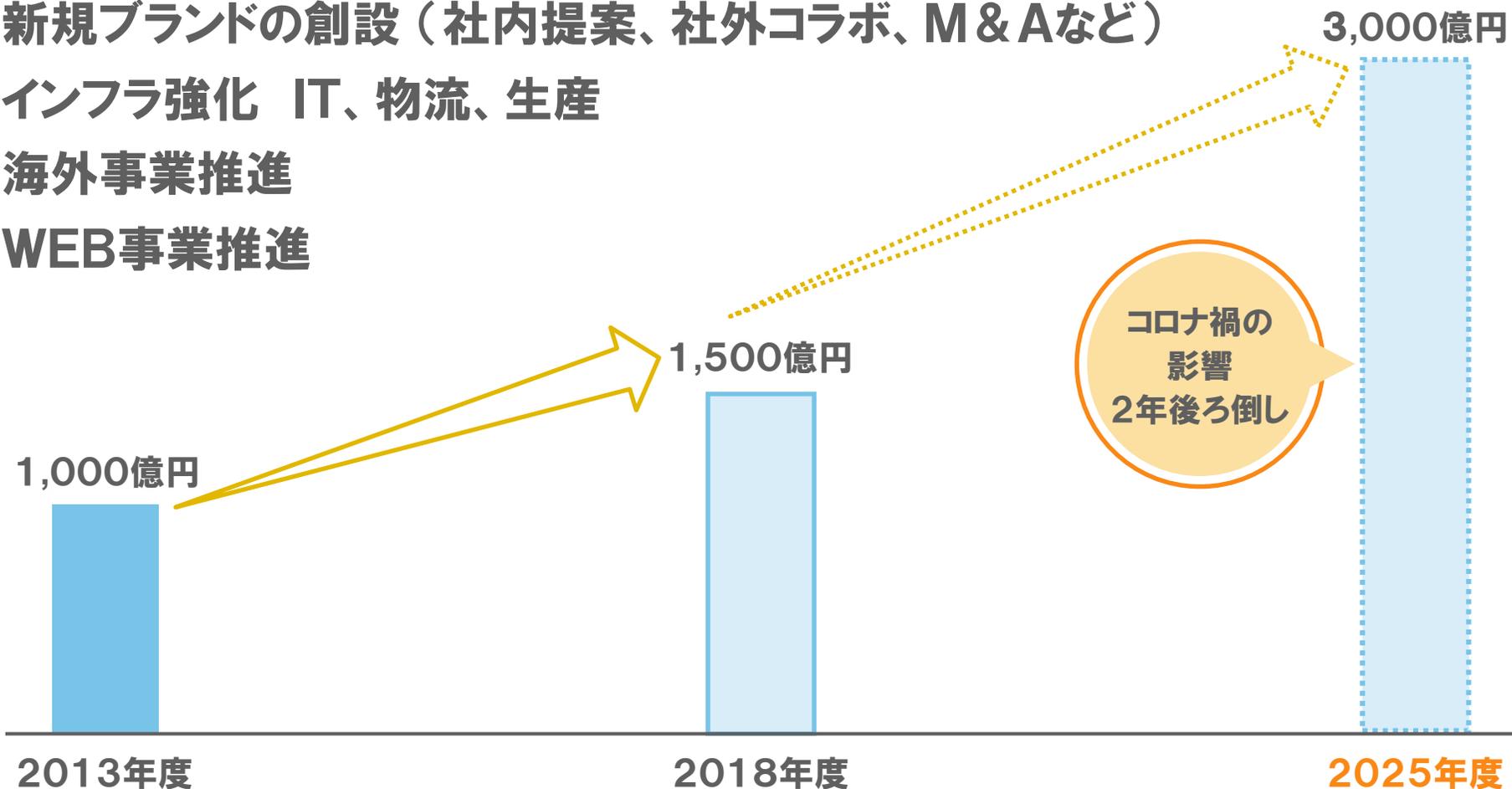


業績推移



事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- インフラ強化 IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



SMILE
IS
POWER.

トピックス

1. MD改革の進捗状況

2. EC販売強化

①. EC売上高の推移

②. PALアプリ会員数の推移

③. EC物流倉庫の自動化へ投資拡大

3. サステナビリティへの取り組み

①. 白浜に「くろしお想」オープン

②. 地域創生プロジェクト「KITO」スタート



1. MD改革の進捗状況

具体的な施策

年次	進捗段階	具体的な施策
2013年	第1段階	売れ筋商品のMDサイクル(8週間)での完成段階 MD改革の断行を宣言
2013年 11月	第2段階	環境の変化への大きな舵取りを断行へ 温暖化の影響による春・秋のシーズンの希薄化、バーゲンセール の分散化・不人気化、ファストファッションの浸透・・・等々から 売れ筋商品のMDサイクルを、一気に4週間の短サイクルへ
2014年	第3段階	円安を主要因とする非常に厳しいアパレル小売の環境下 短サイクル化による、店頭鮮度の向上がプロパー消化率を押し上げ 適正型数、在庫管理の徹底により、セール期での粗利低下を防止 4週間の短サイクルMDの完成
2015年		期初から、全ブランドの4W発注を達成
2016年		生産プラットフォームの強化 春夏ものから生産集約を開始、グループの規模を生かした形で、 秋冬ものから本格稼動し、質の向上とコスト削減へ トレンドベーシックな価格戦略商品の取込み 従来の中間層が崩壊した市場に合わせた商品の投入/大型ブランド育成
2017年		5つの施策の明確化 ①4週MDのさらなる徹底と推進 ②プロモーションのネット化(オムニチャネル) ③ECの強化 ④生産プラットフォームの活用・強化 ⑤プラスワンカテゴリーの強化 ⑥シフトの効率化
2021年		店舗の大型化と併せ『高感度ライフスタイル提案型の生活産業』へ

粗利率 SPA化率

56.5% 80%を維持

54.7% 80%を維持

56.4% 80%を維持

58%を目指す

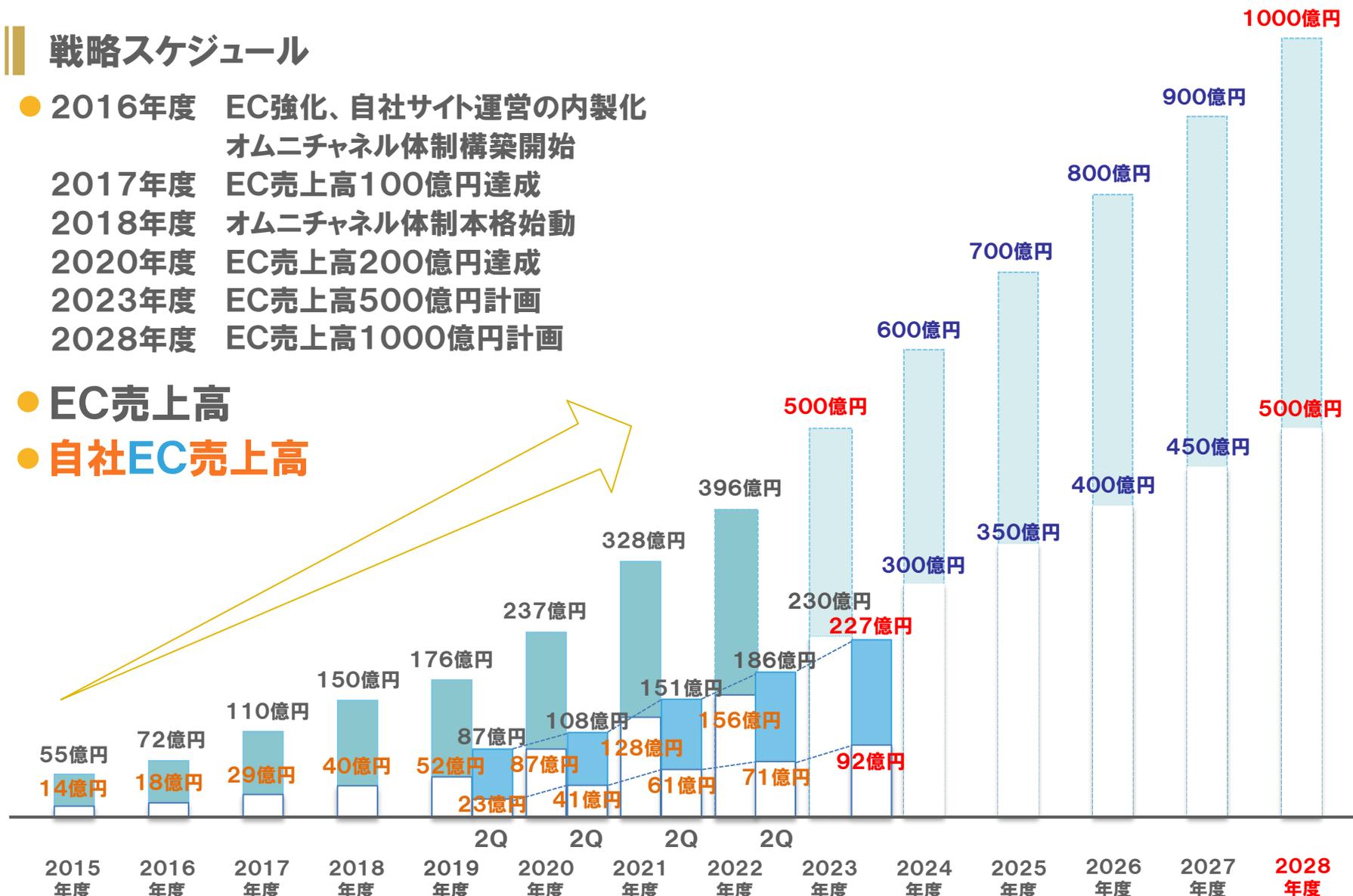
2-①. EC売上高の推移

※2022年度より「収益認識に関する会計基準」数値適用

戦略スケジュール

- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化
オムニチャンネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャンネル体制本格始動
- 2020年度 EC売上高200億円達成
- 2023年度 EC売上高500億円計画
- 2028年度 EC売上高1000億円計画

- EC売上高
- 自社EC売上高



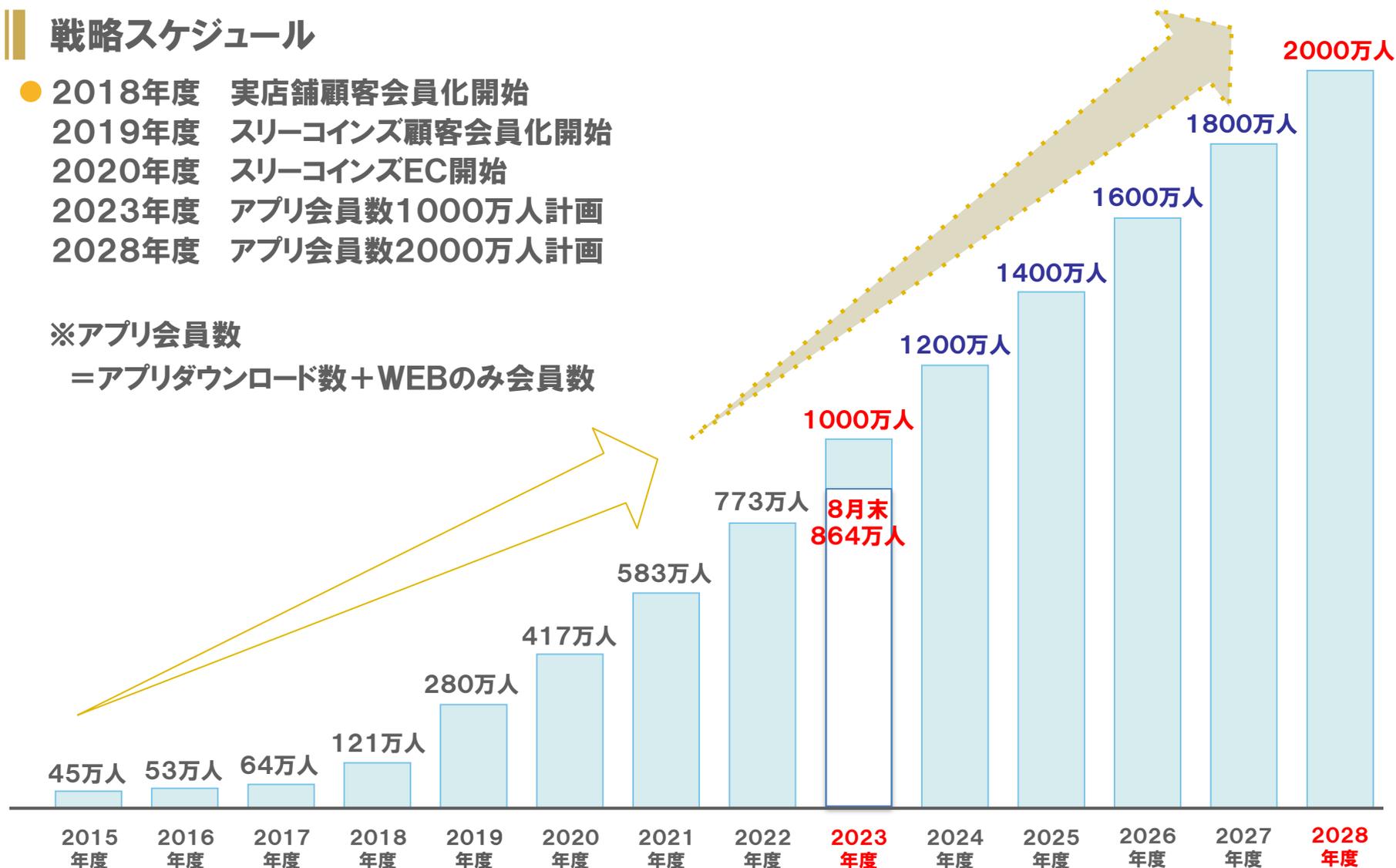
2-②. PALアプリ会員数の推移

戦略スケジュール

- 2018年度 実店舗顧客会員化開始
- 2019年度 スリーコインズ顧客会員化開始
- 2020年度 スリーコインズEC開始
- 2023年度 アプリ会員数1000万人計画
- 2028年度 アプリ会員数2000万人計画

※アプリ会員数

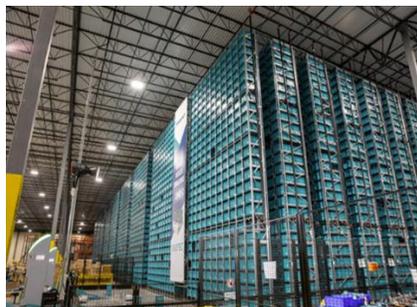
=アプリダウンロード数+WEBのみ会員数



2-③. EC物流倉庫の自動化へ投資拡大

「新倉庫移転と物流ロボット導入」によるキャパの大幅拡張及び生産性の向上

2024年3月 新倉庫[DPL平塚]稼働とEXOTEC社※1 Skypod(ピッキングロボ)の導入。



目的

2028年度に掲げる現状(2023年度)の2倍規模へのEC事業拡大計画に対応するべく、2024年3月に新物流拠点「DPL平塚」への倉庫移転及び設備投資を行い、キャパシティを拡張しつつ業務の自動化を推進する。

背景

- ・現倉庫キャパシティの拡張性の限界
- ・入出荷増に伴う倉庫人員確保の困難性
- ・人件費高騰
- ・燃料費、物流費の値上がり

などが既に顕在化。さらに2024年問題による懸念の高まり。

→上記の課題を解決しつつ、顧客への迅速な出荷対応をするべくEC物流倉庫の自動化に着目し倉庫移転及びロボ導入を決定

期待効果

現状の最大約3倍規模まで耐えうる拡張性、作業生産性約2倍、在庫保管効率約1.5倍を見込む

新物流拠点:DPL平塚

所在地:神奈川県平塚市大神380-1 DPL平塚西棟3F

稼働開始:2024年3月予定

※1 EXOTEC社とは

2015年に設立。倉庫向けのロボットピッキングシステムを開発・製造
小売り・Eコマース・製造業の倉庫向けの柔軟な自動化ソリューションを開発・
製造するフランスのロボットメーカー。

2019年に東京にオフィスを構える。

日本においても、大手小売業、大手SPA企業での導入が進んでいる。

地域の魅力を発信する、高級宿泊事業「くろしお想」

パルグループの事業多角化:「宿泊業」への取り組み

2023年7月7日、和歌山県南紀白浜に全11室の温泉旅館としてリニューアルオープン。徒然草の第137段からインスピレーションを経て、「美しさを目ではなく、心で楽しむこと」を大切に、和歌山県の伝統工芸や地産の建材を随所に取り入れ、地域の魅力を発信するフラグシップショップのようなお宿を目指しました。お食事は、ミシュラン一つ星の「てのしま」林亮平シェフ監修。和歌山の郷土料理をベースに現代語訳した日本料理を、地元食材にこだわりご提供しております。パルグループが掲げる、新しいライフスタイルの提案を、衣食住全てが表現できる宿泊業という形で取り組みます。元アパレルスタッフが多数在籍し、アパレルで培ったおもてなしを発揮し、社員の新たな挑戦・キャリアアップになるよう多角化を目指します。

サステナビリティの取り組み

地域のものづくりを次世代に繋げるべく、地場産業や伝統工芸を積極的に企画に取り入れました。ダイニングでは節や虫喰い痕のある、ありのままの良さを活かした紀州材「あかね材」のテーブル、白浜で生産された「い草」のサスティナブルなチェアを使用。フロントには、350年以上の歴史ある紀州手漉き和紙「保田紙」を用いました。また、宿泊業で課題の客室アメニティには、環境に優しい竹素材を使用した「MiYO ORGANIC」の使い捨てないアメニティ、牛乳パックから生まれた糸とオーガニックコットンを使用した「REPAC」の館内用靴下・タオルを導入。お食事では、農福連携の自社農園「スマイルファーム」で収穫した野菜等を使用しています。



ロビーでは地元の川沿いの地中に眠っていた樹齢100年程の杉の大木をインテリアとして活用。

牛乳パック・オーガニックコットンから出来た館内アメニティは持ち帰って、使え続けるように企画。



奈良県吉野郡下市町で始まる新たな取り組み

廃校小学校の利活用事業、2024年夏の開業を目指します

背景と経緯

下市町は奈良県の中央に位置し、自然と産業が育む魅力的な場所です。しかしながら年間100人近い人口減少が進行し、特に若者の転出や移住者の減少が深刻な課題となっています。この課題の解決のきっかけになるべく、下市町の活性化、魅力を高める商業施設の提案を通じて、町の発展に寄与することを目指しています。今回の取り組みは、社員の「地方創生をパルグループで行いたい」という想いと、井上会長の「故郷に還元したい」という願いから生まれた新たな挑戦です。

パルグループの目指す地方創生

町が直面している課題を一緒に解決していく第一歩として、地元の方にも楽しんでいただける賑わいの場となる商業施設、さらには関係人口の増加を期待した観光の目的地となるシンボル施設づくりからスタートします。それが廃校を利活用する複合施設「KITO（キト）」です。

プロジェクトメンバーは地域に何度も足を運び、地域の方々との真摯なコミュニケーションを繰り返し、関係を構築してきました。その中で下市のたくさんの魅力的なコンテンツ(ひと、もの、こと)に出会うことで、複合施設としての「KITO」の目指すべき姿を具体化してきました。

2024年夏の開業に向け、パルの強みである多様なブランドの企画力・ノウハウ・発信力を活かした「パル独自の地方創生」を進めていきます。



特産品を使用した商品開発に着手

柿や桃などのフルーツの生産者さんが多い下市町。そのフルーツを活かし、パルの企画力を活かしたオリジナルの商品開発を今年度からスタートさせました。第1弾はブランド苺「古都華」と「あすカルビー」をふんだんに使用した「イチゴスムージービール」を開発。販売開始2か月弱で完売し、今後の展望に繋がる結果となりました。

SMILE
IS
POWER.

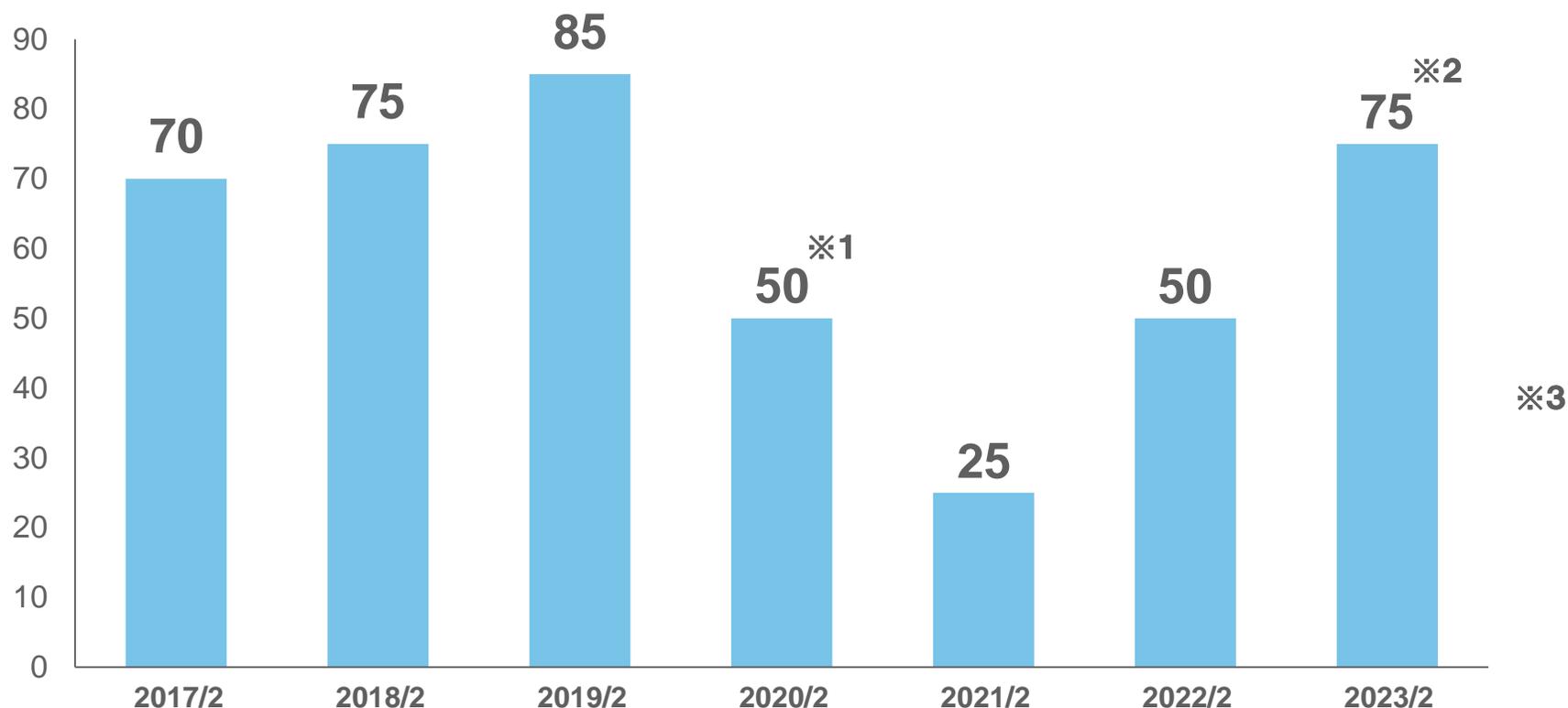
株主様への対応

1. 株主還元策について
2. 株主優待制度について



1. 株主還元策について

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、30円とする（前期比5円増配）



※1 2020年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済で、結果として2月期末に1株あたり100円へ増配した配当は、50円へ自動的に変更されました。

※2 75円配当の内訳は、60円の普通配当と、50周年の記念配当が15円

※3 2023年9月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済で、結果として2月期末に1株あたり60円へ増配した普通配当は、30円へ自動的に変更されました。

2. 株主優待制度について

『株式の投資魅力を高める目的で、株主優待制度の拡充を決定』

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を下記の通り拡充致しました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単元）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の2つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ① 当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「くろしお想」及び「ホステルのアサ」での宿泊コース料金の50%を割引
- ② 金谷ホテル観光株式会社との提携により、同社が日光・鬼怒川エリアで保有する「鬼怒川温泉ホテル」及び「鬼怒川金谷ホテル」での宿泊コース料金の50%を割引(2023年6月1日より)

● 優待券の付与枚数…株式分割後も変更せず、実質倍増

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



SMILE
IS
POWER.

ESGへの取組み

1. 当社のESGの取組み
2. PALフォレスト事業（Environment）
- 3-①. 障がい者雇用（Social）
- 3-②. 関西学院大学での寄附講座（Social）
- 3-③. パル井上財団での取組み（Social）
4. ジェンダー平等と働き方改革（Governance）



1. 当社のESGの取組み

当社のESGの取組み（Environment Social Governance）は、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の日常の活動を通して、『社員と株主みんなの幸せのための経営』という経営理念と、『未来につなげる社会と地球のための経営』の実現に向け、邁進することと考えています。



2. PALフォレスト事業(Environment)

「PALフォレスト事業」の取組み (Environment)

2012年より、世界遺産の奈良吉野の森で、植林活動に取り組んで来ました。日頃使用する包装材の生い立ちに思いを馳せて、毎年多くの社員、家族が参加することで、地球環境の維持の大切さを認識する、貴重な体験を共有しています。



3-①. 障がい者雇用(Social)

『障がい者の運営する』全国初のホテル、旅館を全面支援 (Social)

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『ASA VILLAGE』及び、近隣の宿泊施設を買収し、『くろしお想』として、大規模な改装を実施の上、2023年7月に営業を再開しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



ロビーでは地元の川沿いの地中に眠っていた樹齢100年程の杉の大木をインテリアとして活用。

くろしお想

▶ <https://kuroshio-sou.com/>

関西学院大学、国際学部での寄附講座の取組み (Social)

当社は、2013年から5年間の大阪大学での寄附講座に続き、2019年から、関西学院大学、国際学部での寄附講座を開始いたしました。机上での理論に加え、経営、流通の現場からの講義を通して、将来の人材育成に寄与し続けたいと考えています。



美しい時計台のある関西学院キャンパス



『公益財団法人パル井上財団』での人材育成①（Social）

当社は、2013年より、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。

具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

現在、約50名の全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生（留学生を含む）に奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト
トップページ



パル井上財団

3-③. パル井上財団での取組み（Social）

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成②（Social）

パル井上財団では、奨学金の給付事業に加え、2018年より、服飾専門学校での流通学科を専攻する学生によるロールプレイ大会を開催する運びとなりました。

『PAL FOUNDATION CUP』と名付けられた大会には、北海道から九州までの多数の服飾専門学校から選抜された学生により、優劣の付け難い内容でのロールプレイングを披露して頂き、今後、ファッションビジネスを目指す学生の目標となる大会にしていきたいと思っております。



4. ジェンダー平等と働き方改革(Governance)

徹底した『ジェンダー平等』と『働き方改革』 (Governance)

『①ジェンダー平等』

当社には、「働きに応じて平等」という、クリアな人事制度評価上での指針が徹底されており、一人ひとりが、モチベーションの向上と共に、安心して働ける環境が整備されています。

	売上	粗利	人件費	在庫	資金	棚卸	合計	100点換算
第一事業部	396	116	84	71	98
第二事業部	353	78	77	86
第三事業部	310	93
第四事業部	378
第五事業部
第六事業部
第七事業部
開発事業部
全社合計	382	82	66	61	85

『②働き方改革』

当社は、1日8時間に捉われないフレキシブルな労働時間の設定を可能にする運用を始め、有給休暇や長期休暇の取得も容易になるなど、メリハリのある職場環境の醸成に努めています。

社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名	株式会社 パルグループホールディングス
所 在 地	【本社所在地】 大阪府大阪市中央区道修町3-6-1 京阪神御堂筋ビル10F 【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F
代 表 者	井上 隆太
資 本 金	31億8,120万円
設 立	1973年10月
事業内容	婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売
店 舗 数	947店舗

広報室

TEL 06-6227-0308
FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。